

2004 年 1 月 26 日

マニユライフ・ファイナンシャル、マニユライフ生命と 東京三菱銀行が商品開発・業務提携に合意

マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーション、マニユライフ生命保険株式会社（マニユライフ生命）と株式会社東京三菱銀行は、この度、東京三菱銀行のネットワークを通じてマニユライフ生命の個人年金保険の販売を行なう内容の戦略的提携を結ぶことを決定致しました。これに併せ、東京三菱銀行はマニユライフ生命に 50 億円の優先株出資を行います。

マニユライフ・ファイナンシャルの社長兼 CEO であるドミニク・ダレッサンドロ、マニユライフ生命の代表執行役社長兼 CEO トレバー・マシュウズ、東京三菱銀行頭取 兼 東京三菱銀行の親会社である株式会社三菱東京フィナンシャル・グループ取締役社長の三木繁光氏は、本日、東京で行われた調印式にて契約書を交わしました。

マニユライフのダレッサンドロは、「弊社のグローバルな商品知識および専門性に信頼を寄せていただいたことを光栄に思っています。」と述べ、また「この提携により、魅力的な販売チャネルを通じて業界をリードする年金商品をご提供できるようになります」と語りました。

この合意により、東京三菱銀行はマニユライフのグローバルな商品開発力を活かしてお客様に最先端に行く革新的な個人年金保険商品を提供できるようになります。マニユライフ生命は商品認可を前提に、4 月より東京三菱銀行ネットワークを通じての商品販売を開始します。三菱東京フィナンシャル・グループの信託部門（三菱信託銀行）及び証券部門（三菱証券）においても、追ってマニユライフ生命の商品の取り扱いを開始します。

専門技術の戦略的提携

「この提携により、両社の持つ強みを一つに結集し、国内外の経験・実績を活用しながら競争力のある先進的な商品を共同で開発・販売できるようになります。いまだ拡大途上にある日本の変額年金市場で大きなシェアを獲得していくことを可能にするものです」とマシュウズは語っています。

今回の提携は両社の長期的業務戦略に基づいて結ばれたものです。また、マニユライフ生命としての日本市場へのコミットメントであるとともに日本の生命保険市場をリードし、発展させるための重要な一翼を担うという基本方針の表明でもあります。提携の一環として、東京三菱銀行は現在マニユライフ・ファイナンシャルのグループ会社が保有するマニユライフ生命の優先株 50 億円を譲り受けることとなります。

マニユライフ生命はカナダに本拠を置くマニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業で世界的な格付け会社スタンダード&プアーズ社から、トップクラスの格付けの一つである「AA+」を取得しています（2003年12月現在）。

マニユライフ・ファイナンシャルは、100年以上の歴史を誇り、カナダを本拠とし、世界15カ国・地域で事業展開している金融サービスのリーディンググループです。同社職員、エージェント及び販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じ、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスをご提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルの管理運用資産は2003年9月30日現在1,508億カナダドル（約12兆4,460億円）となっています。

マニユライフ・ファイナンシャル社はトロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所、フィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、香港証券取引所では「0945」で取引されています。マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細はホームページ（www.manulife.com）をご覧ください。

なお、マニユライフ生命のホームページは以下の通りです。（www.manulife.co.jp）